
平成31年 第1回 高千穂町議会定例会会議録(第2日)

平成31年3月7日(木曜日)

議事日程(第2号)

平成31年3月7日 午前10時00分開議

- 日程第1 報告第1号 専決処分書の報告について(町道山附線)
- 日程第2 報告第2号 専決処分書の報告について(南平団地)
- 日程第3 報告第3号 専決処分書の報告について(天岩戸保育園)
- 日程第4 議案第14号 平成30年度高千穂町一般会計補正予算(第6号)
- 日程第5 議案第15号 平成30年度高千穂町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
- 日程第6 議案第16号 平成30年度高千穂町簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)
- 日程第7 議案第17号 平成30年度高千穂町下水道事業特別会計補正予算(第4号)
- 日程第8 議案第18号 平成30年度高千穂町介護保険特別会計補正予算(第4号)
- 日程第9 議案第19号 平成30年度高千穂町国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)
- 日程第10 議案第2号 高千穂町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について
- 日程第11 議案第3号 高千穂町育英資金貸与条例の一部改正について
- 日程第12 議案第4号 高千穂町国民健康保険病院医師修学資金貸与条例の一部改正について
- 日程第13 議案第5号 高千穂町簡易水道給水条例の一部改正について
- 日程第14 議案第6号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
- 日程第15 議案第7号 高千穂町立保育所設置条例の一部改正について
- 日程第16 議案第8号 高千穂町子育て支援金支給に関する条例の一部改正について
- 日程第17 議案第9号 高千穂町国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第18 議案第10号 高千穂町温泉使用料徴収条例の一部改正について
- 日程第19 議案第11号 公の施設に関する条例の一部改正について
- 日程第20 議案第12号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 日程第21 議案第13号 高千穂町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 日程第22 議案第20号 平成31年度高千穂町一般会計予算
- 日程第23 議案第21号 平成31年度高千穂町国民健康保険特別会計予算
- 日程第24 議案第22号 平成31年度高千穂町簡易水道事業特別会計予算

- 日程第25 議案第23号 平成31年度高千穂町下水道事業特別会計予算
- 日程第26 議案第24号 平成31年度西臼杵地域介護認定審査会特別会計予算
- 日程第27 議案第25号 平成31年度高千穂町介護保険特別会計予算
- 日程第28 議案第26号 平成31年度高千穂町後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第29 議案第27号 平成31年度高千穂町国民健康保険病院事業会計予算
- 日程第30 議案第28号 平成31年度高千穂町水道事業会計予算
- 日程第31 議案第29号 延岡市との定住自立圏形成協定の一部変更について

本日の会議に付した事件

- 日程第1 報告第1号 専決処分書の報告について（町道山附線）
- 日程第2 報告第2号 専決処分書の報告について（南平団地）
- 日程第3 報告第3号 専決処分書の報告について（天岩戸保育園）
- 日程第4 議案第14号 平成30年度高千穂町一般会計補正予算（第6号）
- 日程第5 議案第15号 平成30年度高千穂町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）
- 日程第6 議案第16号 平成30年度高千穂町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）
- 日程第7 議案第17号 平成30年度高千穂町下水道事業特別会計補正予算（第4号）
- 日程第8 議案第18号 平成30年度高千穂町介護保険特別会計補正予算（第4号）
- 日程第9 議案第19号 平成30年度高千穂町国民健康保険病院事業会計補正予算（第4号）
- 日程第10 議案第2号 高千穂町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について
- 日程第11 議案第3号 高千穂町育英資金貸与条例の一部改正について
- 日程第12 議案第4号 高千穂町国民健康保険病院医師修学資金貸与条例の一部改正について
- 日程第13 議案第5号 高千穂町簡易水道給水条例の一部改正について
- 日程第14 議案第6号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
- 日程第15 議案第7号 高千穂町立保育所設置条例の一部改正について
- 日程第16 議案第8号 高千穂町子育て支援金支給に関する条例の一部改正について
- 日程第17 議案第9号 高千穂町国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第18 議案第10号 高千穂町温泉使用料徴収条例の一部改正について
- 日程第19 議案第11号 公の施設に関する条例の一部改正について
- 日程第20 議案第12号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 日程第21 議案第13号 高千穂町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

農地整備課長 …………… 甲斐 徹 建設課長 …………… 佐藤 雄二
会計管理者 …………… 後藤 孝嘉 ときわ園施設長 …………… 甲斐 順生
病院事務長 …………… 江藤 良一
保健福祉総合センター事務次長 …………… 工藤加代子
上下水道課長 …………… 吉本 浩
教育委員会次長兼教育総務課長 …………… 戸高 雄司
監査委員 …………… 戸高 國興

午前10時00分開議

○事務局長（佐藤 英次事務局長） 皆様おはようございます。御起立お願いいたします。一同、
礼。

〔起立・礼〕

○事務局長（佐藤 英次事務局長） 御着席ください。

○議長（工藤 博志議員） これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

日程第1. 報告第1号

日程第2. 報告第2号

日程第3. 報告第3号

日程第4. 議案第14号

日程第5. 議案第15号

日程第6. 議案第16号

日程第7. 議案第17号

日程第8. 議案第18号

日程第9. 議案第19号

○議長（工藤 博志議員） 初めに、日程第1、報告第1号から日程第9、議案第19号までの報告3件、補正予算議案6件、計9件を一括議題として質疑を行います。

なお、平成31年度施政方針に対する質疑も行います。

また、質疑をされる方は、議会申し合わせ事項を遵守していただき、さらに、議案番号並びに答弁者を指名して質疑を願います。質疑ありませんか。富高友子議員。

○議員（13番 富高 友子議員） 13番、富高でございます。初めて町長に質疑をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

今回、予算を見てみますと、公約にもされましたように予算に反映されているところが何件かあるようです。そういうことを、子育て支援とか、とてもうれしく思っているところでございます。

それで、補正議案19号に対して町長に質疑をさせていただきたいと思います。

国民健康保険病院の医療収益が1億2,500万マイナスになっておりますが、これからも続くことだろうと思います。それで、命にかかわることですので削減とか削ることはできないと思いますが、施政方針でも述べられました3町でやはり運営をしていかなくちゃいけないときが来るんじゃないかと私も思っております。今回、町長がそういうふう施政方針で述べられましたことは、本当によかったなと思っておりますが、それについても課題がたくさんあることだろうと思います。

そこで、やはり3町ですることになったときに、一部事務組合をつくるということですが、町の持ち出しは今までよりかふえるのか、減るからされると思うんですが、そこら辺をちょっと述べていただきたいなと思います、わかる範囲で。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 富高友子議員からの質問にお答えをしたいと思います。

高千穂町立病院の運営につきましては、私も選挙の公約でも述べてまいりましたけれども、やはりこのまま行きますと、日之影、五ヶ瀬、高千穂、3病院とも経営状況が好転するということは望めないというふうに思っておりますので、やはり3町で連携を図っていくということを推進してまいりたいと思います。

3町で連携することによりまして、一部事務組合を設立するということは考え方の一つであるというふうに思っておりますけれども、そうなった場合に、高千穂町立病院が中核病院となるということは間違いない、そういった位置づけで進めてまいりたいと思いますけれども、高千穂町立病院にはMRIであるとか、そういった高額な医療機器もございます。

そういったところで日之影、五ヶ瀬から患者さんが多く診察に訪れるということになりますと、そのような機器の更新費用、導入費用等につきましても、ある程度日之影、五ヶ瀬からも財源の負担をお願いするというので、今まで高千穂町だけになっていた部分を、ある程度日之影、五ヶ瀬からも担っていただくといった、そういったことも考えたいというふうに思います。

そういったことによりまして、高千穂町の支出負担を少しでも減らしていきたいというようなことも考えているところでございます。

あと3町で連携することによりまして、医師を高千穂町立病院に集めてくるといったことで、総合的に考えまして、郡内の医療環境の向上を図っていくということで進めてまいりたいと思います。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 富高友子議員。

○議員（13番 富高 友子議員） ぜひそういうふうになるようにお願いなのですが、町立病院に私たちもかかっています。そうすると、やっぱり日之影五ヶ瀬からお見えの方もいらっしゃいます。入院されている方もいらっしゃいます。その方たちのことも鑑みて、やはり3町でしていくのは正しいかと思っておりますので、ぜひそういう事務組合とか早急に立ち上げられるのか、お考えをお聞きします。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） この考え方につきましては、今、日之影、五ヶ瀬の町長さんとも私はこういった考え方に基づいてやりたいんだということについては、既にお話をさせていただいております。両町長とも高千穂町が中核病院となってやっていただくということについては賛成だということで回答を得ているところではございます。

また、宮崎県のほうといたしましても、ぜひ西臼杵は一つで考えたほうがいいんじゃないかという形で、県のほうからも、また保健所のほうからも入っていただいて、指導をいただいているところではございます。

また、西臼杵の医療のあり方検討会ということで、今後も協議を進めてまいりますけれども、そういった協議の場を持って、高千穂町がリーダーシップをとって、そういった一部事務組合を立ち上げるというようなことも選択肢の一つだということで、一番どういったあり方がいいのかというのを、慎重に検討してまいりたいと思います。

県からの指導によりますと、美郷町でもいい事例が出来上がりそうだと聞いたことも聞いております。

また、国内でそういった病院を統合して、いい形で経営ができていて、そういった事例をつくってきた専門家の方もいらっしゃいます。そういった方の意見も聞きながら、西臼杵3町で連携してやっていくのに一番ベストな形を模索していきたい。その中で一部事務組合というのも、それが一番ベストだということになりましたら、早急に立ち上げてまいりたいというふうに思います。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 富高友子議員。

○議員（13番 富高 友子議員） ぜひそのようにしていただきたいと思います。前、副町長レベルで、3町で連絡協議会みたいのをつくってされてましたので、その中でも出ていたんじゃないかと思います。

私たちは都会に比べて、医者を選べません。やはり高千穂の町立病院にいい医師をたくさん集

めていただいて、私たちが安心して幸せな暮らしができるように、やはりしていただくとがベターかなと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑はありませんか。坂本弘明議員。

○議員（10番 坂本 弘明議員） 10番、坂本。14号、一般会計の補正について伺います。

法務局跡地の400万の減額についてお尋ねいたします。この減額に至ったいきさつについて、これは新町長がこの減額を指示されたのか、また、そういう話はなくて、財政課のほうで減額されたのか、どういう過程でこの減額が起きたのか、伺います。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 補正第14号の法務局跡地の庁舎改修工事減額についてですけれども、こちらにつきましては工事請負費400万円の減でございますけれども、私はちょっとそのときおりませんでしたけれども、第1号補正で計上した予算でありますけれども、当初は法務局跡地の1階に社会福祉協議会、そして3階に商工会が移ってくるというのはどうかと、そのための費用として改修費を上げていたところでございます。

その後、社会福祉協議会はときわ園をやっていくということで、あそこに入らないということが決まったわけでございます。その後、商工会につきましては現在も協議中ございまして、法務局跡地に入るかということと協議をしているところではございますけれども、現在のところ、まだ結果が出ていないということでございます。

そして、それに向けた改修費用であったわけですが、どちらもまだはっきりしていないということでございまして、今の時期でございますので、今から執行するという期間も余裕がないということでございますので、今年度の予算につきましては、不用額として一旦落とさせていただくということでございます。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 坂本弘明議員。

○議員（10番 坂本 弘明議員） 新町長に申し上げますが、引き継ぎがうまくされていないところは、私は答えられないほうが良いと思うんですけど。財政課長に伺います、同じ質問です、財政課長。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（河内 晴彦課長） ただいまの坂本議員の質問について、ちょっと私のほうで補足したいと思います。

1号補正で計上しました予算は、中身としましては水道の直結工事、それから2階部分のコン

セント埋設、この工事を計上しております。

6月の時点では、1階部分に社協、3階に商工会が入るということで話が進んでおりましたけれども、その後、その話が白紙の状態に戻りまして、入るとなれば水道メーターを各階に分けてつけたほうがいいんじゃないかというような話も出ておりましたけれども、その話がなくなったということで、水道の直結工事も、今は屋上にタンクが上がってポンプアップしているわけなんですけれども、直圧で水道がいけるという話でありましたので、余計なものは省いたほうがいいということで、ポンプ装置を除いて直圧にしようということで、第1号補正ではそういった予算を上げたところでした。

ただ、商工会、社協が入るという話がなくなりましたので、急いでその工事をする必要もないし、メーターも分けてつけるのも、話のはっきりしてからの時点でやったほうがいいんじゃないかなというところで、その後ちょっと工事は見送っておりました。

本年度になりまして、今、町長が言われたように、商工会があっちに移ることがまだ確定しておりませんので、それが確定するのが新年度になってからかなと思いますので、今回1号補正で上げた水道直結工事関係、そういったものについてはちょっと今年度の執行は控えようということで、落とさせてもらったところであります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 坂本弘明議員。

○議員（10番 坂本 弘明議員） 12月の議会で、これは板倉議員から修正動議が出されたわけですね。そのときに前副町長は、確約をもらっていると、商工会が移るという確約はもらっているんだと、私は念を押しました、ここで。確約をもらっているという話でした。今回この減額をするならば、12月議会の修正動議を私はもう賛成しよかったほうがいいんじゃないかと、この減額が出てそう思いました。財政課長、商工会との協議、前副町長から引き継がれた後に、商工会の会長、その関係者と協議を持たれましたか、いかがですか。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（河内 晴彦課長） 商工会の会長とは話をしまして、会長の意向としましては、ぜひ法務局跡地のほうに移りたいということで、中身の改装工事についても打ち合わせ等はしております。

ただ、役員会、それから総代会で決定することなので、それが決まってからでないといけないということで、そういった話はしております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 坂本弘明議員。

○議員（10番 坂本 弘明議員） 私はきのう、商工会長と話をしました。前副町長とも話をい

たしました。商工会長は、副町長が確約をとれたと言われたその時点から、財政課長は1回も私にはそんな話はしていないと、全く協議がなされていないんだと。

最初にこの商工会長があのだ法務局に入るといふ話は、いつから出た話ですか。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（河内 晴彦課長） 時期的なものはちょっとはつきりはしておりませんが、社協が入る、それから3階に商工会が入るといふ話が流れて、その後法務局の利用をどうしたらいいかという検討した中で、商工会会長に打診したところ、商工会長は前向きな姿勢を見せられたといふことで、そこから話をしておりますので、去年の秋口ぐらいだったかなといふふうに思っております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 坂本弘明議員。

○議員（10番 坂本 弘明議員） 去年の秋から協議をされていると言いましたけれども、この減額の話もじゃあ知ってるんですね、元に戻すといひますか、ゼロ円に戻すといふ話を商工会長には話しておられるんですね。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（河内 晴彦課長） 今回補正で落としております第1号補正の分の減額については、水道直結の工事等の関係ですので、直接は話はしておりません。

○議長（工藤 博志議員） 坂本弘明議員。

○議員（10番 坂本 弘明議員） この話はちゃんと商工会長が記録しておられました。最初に商工会が移らんかといふ話が出たのが一昨年5月、もう丸2年になりますといふ話でした。

いわば町のほうからそういうコミュニケーションといひますか、協議を頻繁にやればわかるんだけれども、全くそういう協議がないと。商工会長は、話が長くなればなるほど反対がふえてくるんだと、ですから、決めるときにはぱっと決めたほうがいいといふ話をしておられました。あまりにも長くなりすぎた話かなといふふうに思ひます。副町長もきのう言われたのは、財政課長にちゃんと後は頼んでおいたと、財政課長は後のことは任せてくださいといふことを話されました。確かにそういう話はされたんですか。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（河内 晴彦課長） 確かに後のことはこちらに任せてくださいといふ話はしたと思ひます。

ただ、こっちのほうで伝える情報といひるのは、向こうに伝えていまして、あとは商工会のほうの組織の決断待ちといふことでありますので、こちらは動きようがないといふところが正直なところであります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 坂本弘明議員。

○議員（10番 坂本 弘明議員） 要するに、改装の内容もわからない、まず商工会が独自の見積もりを出さないとわからないと。その中で本当に協議をしてきたのか、全くされてないんじゃないですか。

私、町長にお伺いしますが、町長は町長になられるとき、マニフェストとして町民に寄り添うということをおっしゃいました。そういう町民とのコミュニケーションはとれずに、こういったことを、予算を上げたり引いたり、商工会との十分な話もしていないという現状、私は新体制として寄り添う政治がなされるのかと非常に疑問ですが、この状態について町長はどうお考えですか。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 今の御質問のやりとりを聞いておまして、確かに商工会側からしたら、町がどのように考えているのか、いまいち伝わってこないというところがあったんだろうというふうに思います。こちらから投げているつもりでも、向こうとしてはそのように受けとっていただいていないというところがあると思いますので、やはり期間短く、定期的に話し合いを重ねると、意思疎通を図っていくということが大事だと思いますので、その辺につきましては、またそのような形で町民の皆さんと密にコミュニケーションをとるとということについては、指導していきたいと思います。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 坂本弘明議員。

○議員（10番 坂本 弘明議員） 商工会長は、何回も財政課には来ておられます、それから。その都度そういった話は全くないと、そういうふうな話をしておられました。

私は新町長に、町長になられるときに話したと思います。商工部といいますか、商工関係の人たちと溝があるんだと、その溝を新体制で埋めてほしいということを私は申し上げました。

私は、役場の職員はそういったコミュニケーションをふんだんにとっていかななくてはいけないと思うんです、町民の人たちと。できれば、どっちかといえば事業課の職員のほうが接する機会が多いかなと。向こうから言ってくるまで待ってるんじゃないかと、その都度情報を伝えるということも大事かなと。

たった400万と思うかもしれませんが、一応血税ですので、そういうコミュニケーションをとって、そして、商工会もお金がない、お金がないと言いながらも200万までは出せないと、そういう話もされました。そういう詰めの協議を、何で私はやってくれなかったのかなというふうに思います。

12月の議会で修正動議を見送ったことについて、非常に私は残念に思っておりますし、ほかの議員もプライドはどうしてくれるんだという気持ちがあると思うんです。

ですから、私は今後もっとそういう町民との溝を少しでも埋められるように、ぜひともそういったコミュニケーションのとり方というものを新体制のもとに周知徹底をしていただきたいというふうに思います。

最後に町長、お願いします。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 坂本弘明議員からの御意見につきましては、私たちも新体制になったばかりではございますけども、職員に対しまして、役場からの積極的なコミュニケーションへの誘導というか、その場をつくっていくということについては取り組んでまいりたいというふうに思います。いただいた意見を重く受けとめまして、役場にて周知徹底を図ってまいりたいというふうに思います。

以上です。ありがとうございました。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑はありませんか。板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 2番、板倉です。その関連で、法務局の件で質問したいと思います。

今回400万の減額で、内容が水道の直結とあと2階のコンセントの埋設という説明でした。確認の質問なんですが、まだ商工会との協議中ということになるんですが、もし商工会が入った場合、協議はうまくといきますか、お互い合意ができて、商工会が法務局に入ったときに、そのときにまた水道の直結の工事はされるのかどうか、財政課長にお伺いしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（河内 晴彦課長） ただいまの質問ですけれども、商工会が入るということになれば、水道の直結工事は行うことになるかと思えます。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） もう一つ確認で、今回の400万の中に、2階のコンセント埋設もあったという説明でしたけれども、前回の議会でも議題になっていた2階部分についてはギャラリーにするということだったと思うんですけれども、今回2階のコンセント埋設の予算が下げられたんですが、ギャラリーをつくる上で支障がないのかどうか、財政課長にお伺いしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（河内 晴彦課長） 2階のコンセント埋設につきましては、ギャラリーの工事の費用に入っておりますので、重複している形になりましたので、1号の分を落としても支障がないと

いうことであります。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 今回の予算と直接関係ないところなんです、2階のギャラリーの進捗状況について、財政課長にお尋ねしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（河内 晴彦課長） 進捗状況については、申しわけありませんが、確認はしてありませんけれども、途中でちょっとは見に行っただけなんですけれども、恐らく終わっているのかなというふうに思っているところであります。まだ完了の報告等は受けておりませんので、正式にはまだ終わっていない形なのかなというふうに考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 工事は終わっているけれども、確認は終わっていないから、その事業として終わっていないということでもいいでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（河内 晴彦課長） そうですね、実質的には工事は終わっているのかなというふうに思っておりますけれども、まだ手続的には完了でないというような形かなというふうに捉えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） そのギャラリーのなんです、現状商工会がまだ未定である状況なんです、ただギャラリーのほうは、もう実質工事のほうは終わっているということで、今後どのタイミングで公開といいますか、実際にそのギャラリーを活用されるのか、もし予定が決まっていればお教えいただきたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（河内 晴彦課長） 公開等については、まだ現時点では未定でありますので、今後の協議になるかと思えます。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 恐らくすばらしいものができると思っていますので、一日でも早く活用いただければというふうに思っております。

また別の質問なんですけれども、議案集の57ページ、地方バス路線運航対策事業補助金について、企画観光課長にお尋ねしたいと思います。

こちらの補助事業ですけれども、宮崎交通が運行している延岡高千穂間の路線バスの赤字を補填する補助金ということで概要は認識しているんですけれども、ちょっと私が詳しくないのでお教えいただきたいんですが、こうした補助は高千穂だけでなく、日之影だったり延岡も補填しているのかどうか、御存じであればお教えいただきたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） この赤字の補助につきましては、沿線の市町村で補助をしております、この高千穂延岡間につきましては、高千穂町、延岡市、日之影町、それともう一つ高千穂から五ヶ瀬町立病院の路線がありますけれども、これについては高千穂町と五ヶ瀬町のほうで負担をしております。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 負担の割合、計算方法について、その概要をお教えいただけますでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 細かい算定方法については、そこまでは把握しておりませんが、その市町村を通る距離と輸送人数等で算定をされているということになります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） こちらの補助金なんですけれども、平成29年度の決算額を見ましたら、大体598万円の決算額になっています。平成30年度でいいますと当初予算で400万、そして今回の補正で276万ぐらいが上がってまして、合計で676万ということで、昨年より77万ぐらい上がっているんですけれども、人口減少が進む中で利用者が減少して、赤字が大きくなるというところは想像できるんですけれども、ただ、赤字になったらただけ補填するというのでは負担がふえる一方ですので、赤字を最小にする努力はしていく必要があるというふうに思っています。

赤字額を最小にするために、宮崎交通との協議等をどれぐらいの頻度でされているのか、お教えいただきたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 協議につきましては、直接宮崎交通と高千穂町のほうですということはありませんけれども、県のほうの公共交通会議であるとか、そういった中で協議をされているということになるかと思えます。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（２番 板倉 哲男議員） 今の答弁ですと、ということは高千穂町としては話し合いの場に入っていないということになるのでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 高千穂町として、直接宮崎交通とそういった協議をするという機会は余りないんですけれども、公共交通会議、県のほうの会議には出席をしまして、そこには宮交の路線がある全市町村が参加をしまして、その中でいろいろと協議をされるということになります。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（２番 板倉 哲男議員） この補助金の支払いが、どういう感じで支払われているのかなと思ったんですが、例えば宮崎交通が言ったら言っただけ、請求した額がそれをそのまま払うような仕組みになっているのでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 一応その分は宮崎交通さんが算定をされるんだろうということではありますけれども、これもそういった先ほどから言いますような公共交通会議でありますとか、そういった中で協議をされた上での補助金になろうかと思えます。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（２番 板倉 哲男議員） ということは、今後何も対策を打たなければ、この赤字がどんどん広がって、その補助金額がどんどんふえていくのかなと思うんですけれども、町としてその赤字額、町としては補助金の金額を押さえるためにできることが余りないのかなと思うんですが……。

公共交通会議で、どの程度高千穂町に発言の機会があるのか、そのあたりお教えいただければと思います。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） なかなか公共交通会議、正直申し上げまして発言の機会は全市町村同じようなといいますか、発言というようなことになるかと思えますので、いろいろと全体の中で宮崎交通さんへの要望とか、そういったものはありますけれども、その中で宮崎交通さんのほうもいろいろと努力をされているというところの中で、路線につきましても、この路線バスにつきましても宮崎交通さんの大体向こうの意思で動いているところが大きいわけでありまして、そのほかにもいろいろとこちらのほうで運行しているものもありますが、そういったものについてはいろいろと協議をしながらということをやっているところです。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（２番 板倉 哲男議員） 発言機会も少ないということなんですけれども、ぜひそういう

少ない機会を生かして、赤字額を減らすための方策を関係自治体、そして宮崎交通とともに話し合っただけならばというふうに思います。

続いて59ページの光ケーブル管理事業の委託料について、企画観光課長にお尋ねしたいと思います。

今回、委託料700万円が上がっておりますけれども、その委託料700万の詳細について教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） この委託料につきましては、支障木の伐採でありますとか、道路改良のときの電柱の移設でありますとか、そういった部分の委託料になりますけれども、今回ちょっと金額が大きくなっておりますのは、例年ですと支障木の伐採については光担当でありますとか、NTTのほうで見て回って支障木があれば切るというような形をとっておりましたけれども、30年度につきましては、各公民館にお願いをしまして、支障木を調査していただいておりますので、その分でかなり委託料がふえているということになっております。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 今年度については公民館に調査を依頼したため、その支障箇所が前年以上に多く見つかったということなんですけれども、公民館に調査を依頼したというのは非常にいいことだと思うんですが、そこまでお願いするのであれば、できるところだけでも支障木の撤去というか伐採まで公民館にお願いすれば、もちろん幾らかの有償でお願いするのが一番いいと思うんですが、例えば町道の整備とかも、草刈りとかも公民館にお願いして管理をいただいております。

これを全部業者をお願いしたら非常にコストがかかることを公民館にお願いして、もちろん有償でしていただいているわけなんですけど、ただ、こちらとしても業者をお願いするよりはコストがかからないということではしています。

ですので、この支障木についても、調査を公民館にお願いするのであれば、できるところだけでも、伐採についても公民館にお願いできなかったのかなと思うんですが、そこはなぜ調査だけで伐採は業者にとということになったのか、理由があれば教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 草刈り等でありまして、公民館のほうにお願いをしてもできるのかなというふうに考えておりますけれども、支障木の伐採ということになりますと、ケーブルとの絡みもありますし、高所での作業ということになりますので、なかなかやはり専門の業者さんに任せるべきだということで、今のところは考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） もちろん全てとなると難しいところも実際あると思うんですが、できるところだけでも公民館にお願いできなかったのかなと思います。実際、町内にも林業に従事されていて、木を切るということに非常に慣れている方もおられると思います。ぜひ、来年度以降にも同じようなことをするのであれば、そういったところも検討いただければと思います。

続いて、71ページの観光施設費について、企画観光課長にお尋ねしたいと思います。

こちら需用費で900万以上が上がっていきまして、まずその確認の意味でなんですけど、光熱費だったり、光熱水費の予算については、これは予算策定時よりも単価が上がっているということでの補正予算なのか、その確認で質問したいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 燃料費の増につきましては、かなり予算を組むときよりも単価が上がっておりますので、それによる増が主な要因となっていると思います。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） それではもう一つ、修繕料ということで100万ほどが上がっているんですが、この修繕の内容についてお教えいただければと思います。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） この修繕につきましては、岩戸温泉のほうが大きいわけでありますけれども、配管の修理でありますとか、ろ過機の修繕、それと今回条例でも上げておりますけれども、名称が変わるとすればそのあたりの看板のつけかえといいますか、そこあたりも含めたところでの修繕料の増額というふうになっています。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 今回名称が変わる議案も上がっているところなんですけれども、結構名称が変わることの影響が結構大きいのかなと思っています。町内を車で走ってみても、温泉の道路標識が結構多数あると思います。それを今後やはり変更していかないといけないと思うんですが、そのあたり施設についている看板だけない、町内各地にある道路標識等の改修料というか、そのあたりは入っているんでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） これにつきましては、町のほうで立てております看板につきましては町のほうである程度改修といいますか、名称の変更をしようと思っておりますけれども、道路に掲げてあります看板につきましては、今から県でありますとかのほうと協議をして、私たちのほうから報告という形になるのかなとは思っておりますけれども、今から協議をするところでもあります。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 確認なんですけれども、町が立てている道路標識については町のほうでかえるということなんです、その予算が今回の補正にあるのかどうか教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 申しわけありません。その道路標識についての予算については入っておりません。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） もしわかればいいんですが、今後町がかえなければいけない標識にかかる予算がどれぐらいなのか、もし見積もり等出ていれば教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 標識といいますか、ここで考えているのは温泉の建物についている看板といいますか、それと、館内の表示等でありまして、それと高千穂温泉でいいますと、病院下のところに、道路から上がるところに、そこを考えておりまして、全体としては20万円弱かなというふうに考えております。正式にまだ見積もり等はとっておりません。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） あと県等とも話をしておかえなければいけない標識もあるということなんです、ちょっと私が詳しくないのでお教えいただきたいんですが、いわば町の施設名が変わるといことで、仕方ないことなんです、その責任としては町に責任があるから、道路標識をかえないといけないと、県が立てている道路標識についてもかえないといけないということになるんですが、その際、町として幾らか負担する必要があるのかどうか、もし御存じであればお教えいただきたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） そのあたりのところは今からの協議でありまして、今のところはそこらあたりのところは把握しておりません。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） やはり観光客も実際多いですので、観光客の方が来られて、ここに温泉があるんだということで足を運ばれる方もいらっしゃると思います。ぜひ名称が変わった際には早急に県と協議をして、早急な対応をいただければと思います。

続いて、また別の質問なんですけれども、議案集73ページのまちづくり事業費について建設課長にお尋ねしたいと思います。

今回、まちづくり事業の工事請負費で2,300万ほどが上がっていますが、その詳細について教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 建設課長。

○建設課長（佐藤 雄二課長） ここで増額している2,300万につきましては、今回、今年度の予算の中で、当初計画していた箇所を全体的にいろいろ協議会とか開催する中で優先順位的なものが変わってまいりまして、また、委託料とか工事請負費の費用についても、やはり実施設計を組んだり、また、延長が若干変わってきたり等で異同が生じまして、その結果、今回、最終的に委託料を減額して、工事請負費のほうに回したところであります。

ここで2,300万、工事請負費増額した分につきましては、岩戸地区の門前通りの舗装補修工事と、三田井地区におきましては、現在行っております神殿城山線の歩道の改修工事のほうに回す予定であります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 私、つい先日、岩戸の門前町のほうに行ったんですけれども、そのときにちょっと、事実確認までしていないんですけれども、舗装をしたやつをまたやり直さないといけないということを聞きました。それが事実なのかどうか、まずお尋ねしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 建設課長。

○建設課長（佐藤 雄二課長） いや、その話はどうなのか、ちょっと私のほうは確認はしておりませんけど。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） そういうことならいいんですが、何か私が聞いたのは、何か一部盛り上がっているところがあって、やり直さないといけないということを聞いたので、もしそれが事実だとすれば、その責任が、町の設計側にあったのか、施工業者側にあったのかをちょっと聞こうと思っていたんですが、そういう事実がないということで承りました。

あと、同じその事業で、土地購入費であったり補償金のところの減額がありますけれども、この減額について説明をお願いしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 建設課長。

○建設課長（佐藤 雄二課長） この土地の購入費とか補償費につきましては、御承知のように岩戸のポケットパークの建設とか、交流施設の建設予定地のところにかかるようでありまして、当初予算は概算で土地の単価についてもある程度見込みの中で計上をいたしました。

補償費につきましても正確な金額ではなかったものですから、これも、公共事業の場合は鑑定評価に委託して、その中で補償費の算出を行うわけでございますけれども、その額が確定いたしましたので、その額で補正をいたしたところであります。

もう1点、先ほどの舗装補修がなかったかという話でありますけれども、舗装の補修はなかったんですけれども、今おっしゃった内容であれば、側溝の設置において高さが現地と合わないんじゃないかというところが出てきておまして、そこはまだ、今後の対応について継続協議中であります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 岩戸地区のポケットパークや交流施設の件なんですけれども、前回の補正予算で、土地購入費については105万円、補償金については、前回は1,900万ぐらいで補正予算が出ていたと思いますけれども、その後の地権者との交渉で大幅に想定よりも減額になったということではないでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 建設課長。

○建設課長（佐藤 雄二課長） 所有者との交渉で減額になったということではなくて、実際の鑑定額を入れたところ、鑑定していただいたところ、それによって正式な金額が出たと、当初の補正の時点ではまだ金額は出ていませんでしたので、大まかな土地の調査とか、建物の大きさに準じた形で補正予算を計上させていただいたところなんです。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） あともう1点、先ほど言っておられた側溝の設置が、高さが合っていないかということですか。それは、結局どっち側の責任になるのか、もちろんそっち側に責任があるのであれば、また町が補正予算を組んでということになると思いますし、施工業者側に責任があれば、町として手出しがなくて、施工業者に後をお願いするということになると思うんですが、そのどちらのケースになるのか教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 建設課長。

○建設課長（佐藤 雄二課長） どちらの責任ということではないんですけれども、一応、当初の設計に基づいた形で、立会確認をしながら側溝を入れたんですけれども、一部、現地と合わないんじゃないかというような話も出てきて、それをどう見るか、それぞれ個人的な判断になってくるんですけれども。

下の今つくっている門前通りのほうを、線形を正にすれば、やっぱりちょっと下げたほうがいい状況であるし、上のAコープのほうからおりてくる道のほうからの取り付けを考えた場合であれば、今の施工でよかったんですけれども、それをどっちに合わせるかというところを今協議しているところなんですけれども、きょう、大まかな形とか高さあたりもできてきましたので、両側側溝が入って。だから、再度現地を確認して、どうするかということについて業者と協議していき

たいと考えております。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） ぜひ、やはり地元の方の意向が第一なのかなと思いますので、地元の方の意向を、先ほどの話じゃないんですけども、ぜひ、町民の方に寄り添って、意見を聞いていただいた上で進めていただきたいというふうに思います。

続いて、前後しますが、議案集53ページです。53ページの、ふるさと応援寄附金について、財政課長にお尋ねしたいと思います。

今回、3,500万の減額になってはいますが、この減額は、恐らく当初予算の1億1,000万に、ふるさと納税が達しないだろうということでの減額と思うんですけども、当初の1億1,000万から今回の3,500万を減額すれば1億7,500万ということになるんですが、今のところ今年度の、ふるさと納税の額としては大体1億7,500万ぐらいになるという見込みなんでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（河内 晴彦課長） おっしゃるとおり、見込み額が1億7,500万ということで、当初2億1,000万組んでおりましたので、その差額の減額ということになります。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 以前は、ふるさと納税の担当者が、兼任の正職員が1名と臨時職員が1名の2名の体制でした。その件について私も一般質問で議題とさせていただいたことがあるんですが、その後、補正予算で1名分の臨時職員の予算がつきまして、現時点で3人体制になっています。

私としては、2人体制が3人体制になったということで、ふるさと納税の額もふえるかなと思って期待していたんですけども、残念ながらというか、昨年とほぼ変わらないというか、若干落ちることになっているんですけども、ただ、この結果を考えたときに思ったのが、3名になって、ようやくその職員の業務量が適正になったのかなと、以前、2人体制の場合、本当に大変だったと思います。

大体、年間に1万件ぐらいの寄附があつて、それを365日で割っても1日当たり30件ぐらいの受発注が発生しますので、それを2人でこなすというのは、本当に大変な業務だったと思います。それがやっと今3人体制になって、ようやく職員の業務量が適正になったということなのかなというふうに私としては理解しています。

ただ、このふるさと納税については、町長も施政方針の中でおっしゃっておられましたので、町長にもお尋ねしたいと思うんですが、新たなその事業に取り組むための新たな財源として、ふるさと納税を今後も伸ばしていく必要があるということをおっしゃっていたと思います。

具体的に、ふるさと納税の一部の事務を民間に委託するということがおっしゃっておられましたが、その一部を民間に委託するところのもう少し具体的なところがもし、考えているものが明確にもっとあれば、もうちょっと詳しく教えていただきたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 板倉議員の御質問にお答えしたいと思います。

ふるさと納税につきましては、私も、私が実は財政課長補佐時代に高千穂町の仕組みをつくり上げたということもございますので、思い入れは強いところがございます。

ただ、始まってみまして、私の後任になりまして、私が始めたころは4,000万ぐらいだったと思いますけれども、1億7,500万というようなことになると、非常に業務量がふえております。

そういった中で、一番大事な部分であります返礼品の準備、そして、返礼品をアピールするための写真を撮ったり、あるいは申し込みサイトにアップしていく、そういった作業が、やはり、その新たなことに取り組んでいこうとする時間がないといったのが実情でございます。

そういった中で私は、できましたら返礼品の新たなラインナップ、それにつきましては、加工業をやられている方、あるいは農協さん、がまだせ市場、ミートセンター、そういったところとの折衝であったり、返礼品の準備、そして、写真を撮ってサイトに上げていく、そして、サイトの中身も更新していく、そういったことがなかなか今の事務体制の中ではできないということがございます。

そういったところを、直接お金に絡まない、そういった外に対するアピール、PR、それと、返礼品の発注、そして、返礼品が届いたか届いていないかとか、そういった細かいやりとりもあります。そういったところの対応、そして、お礼状の発送、こういった部分を、できましたら民間に委託をしたいというふうに思います。

ただ、民間に委託するに当たりましては、私は、ふるさと納税はできるだけ高千穂町の活性化のために役立つものでありたい、返礼品の購入についてもなるべく高千穂町内にお金が落ちること等を目指していきたいと思っておりますけれども、この委託についても、できるなら高千穂町内の事業者なりにおろしていくことができないものかなというふうに思っています。

そういった中で、今、インターネットのサイトを使った申し込み、こういったところが主な窓口になってまいりますけれども、そういったところについては、やはり、若い世代のアイデア、あるいは、そういったことに精通した人材、これを活用したい。

そういったことを考えますと、今からの募集になりますけれども、そういったことが得意な若い世代、あるいは団体、NPO等も含めて、そういったところにおろしていくことを検討してまいりますというふうに思います。

また、商工会青年部等におきましても、新たな、ふるさと納税の記念品を高千穂町内でラインアップすることについて、自分たちもかかわりたいといった声も聴いているところがございますので、そういった人たちにもかかわりを持っていただくような、何かいい形の外部委託の方法を検討していきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） ここで、11時10分まで休憩をします。

午前11時00分休憩

.....

午前11時10分再開

○議長（工藤 博志議員） 休憩前に続き会議を開きます。

板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） ふるさと納税なんですけども、高千穂町の現状を考えると、ちょっと寂しいといえますか、29年度については目標が2億2,000万だったのが1億8,000万ほどで、30年度については目標が2億1,000万だったのが今回1億7,500万ほど、そして、31年度予算での目標はまた下がって2億円ということで、高千穂町についてはちょっと右肩下がりというか、残念だなと思っているんですけども。

やはり、ふるさと納税のその制度もどんどん変わっていく中で、担当の方もいろいろ苦労があると思うんですが、ただ、同じ状況でも結果を出している自治体は、やはり結果を出しています、例えば、都農町でしたら、28年度については50億、29年度については79億、そして、30年度はさらにその29年度を上回る予想だそうです。やはり、結果を出しているところは、同じ制度のもとでも結果を出しています。

そして、町長も先ほど言われていました返礼品の写真であったり、ホームページのサイトを見ますと、高千穂町と都農町で比べましたら本当に全然違う内容になっています。やはり、恐らくなんですが、都農町は民間との提携が非常にうまくいっているのかなというふうに思いました。

ぜひ、高千穂町においても、町長が言われたとおり民間の力を生かして、そして、可能であれば町内の事業者の力を生かして、ふるさと納税をより金額を伸ばしていくということで考えていただきたいと思います。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑はありませんか。馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 8番、馬原なんですけども、同じく議案14号一般会計の補正について、財政課長並びに教育次長と農地整備課長にお伺いいたしますけれども、今、板倉議員が2点ほど質問されておりますけれども、まず、地方バスの件なんですけど、企画観光課長のほう

にお伺いいたしますけれども、先ほど詳細はある程度お伺いいたしましたけれども、その中で気になる点が、やはり、延岡高千穂間の大体、出資金額、各市と町と、出資金額と、それと、大体の業者に入るのがわかれば教えていただきたいと思っておりますけれども。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 金額のほうで言いますと、高千穂延岡間につきましては、高千穂町が666万2,000円、それに、延岡市が1,760万、日之影町が1,234万8,000円ということになっております。

それと、あと高千穂五ヶ瀬町立病院間につきましては、高千穂町が10万円、五ヶ瀬町が363万1,000円ということになっております。

輸送人数につきましては、高千穂延岡間が、これが1年間でありまして、7万4,832人、高千穂五ヶ瀬間が1万88人ということであります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） その点で企画課長にお願いしたいのは、さっき板倉議員も申し上げましたけれども、これが平成28年度決算書を見てみましたら480万、大体、平成30年度の決算予想が676万になるわけなんですけど、毎年100万ほど上がっておりますけれども、これを廃止とか、そういうことを言っているのではないんですけれども。

けさの宮日に載っておりましたように、宮崎交通のほうもバスの乗務員が450人のところを400人しかいないと、そして、中山間地が70%の路線が赤字ということで新聞に載っておりましたけれども、その点を、やはり、今後はそういう、この地方バスは毎回この時期に補正が組んでありますけれども、予算が400万から来年度は500万ということで、もう少し中身を協議した中で、予算の上げ方とか、そういうのをされるといいんじゃないかと思うんですけど、その点を、どうでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 毎年この時期に補正ということではありますけれども、最初、当初予算を組む段階でははっきりした金額はわからないという部分で、そういった形になっておりますけれども、今後はもう少し見通しをして、しっかりとした予算を組みたいというふうに考えております。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） そこは、決算の上がり方が100万、100万というのは、やはり異常な面がありますので、検討方をよろしくお願い申し上げます。

続きまして、ふるさと納税の件なんですけれども、再度町長にお伺いいたしますけれども、や

はり、ふるさと納税は民間委託ということで町長が述べられましたけれども、やっぱり早急に6月議会で、第2回議会でも補正を組んでいただいて、そして、業者選択、そして、方向性を示してほしいと思うんですけれども、その点、町長いかがでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 馬原議員の御質問にお答えいたします。

先ほど申しあげましたとおり、できましたら民間に委託できる部分は民間に委託し、そして、民間の豊かな発想力を生かしてアピールを強化していきたいというふうに考えております。

ある程度お金がかかってくると思いますけれども、例えば、500万かけて2億円上がったよということになれば、費用対効果としては絶対にあるというふうに考えておりますので、どの業務を外に出せるのかといったところ、それを早急に取りまとめまして対応をしてみたいというふうに思います。

費用対効果を一番に考えまして、また、地元への委託と、地元に出していくんだということを前提に考えてまいりたいと思います。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 大体ことしの、30年度の決算で1億7,500万ということで返答がありましたけれども、大体7,000万ほど基金繰り入れということで、最終的に本年度が終わった時点で3億円ぐらいになるのではないかというような感じはいたしますけれども、その中で、ひとつ財政課長のほうにその件でお伺いしたいんですけれども、ページ57ページに使用料賃借料ということで330万ほど補正が上がっておりますけれども、これの事情説明をお願いいたします。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（河内 晴彦課長） 馬原議員の御質問にお答えいたします。

使用料賃借料の330万5,000円の計上でありますけれども、これは、ふるさと納税管理システムのサーバーの利用料ということであります。1月から3月の分が不足するというので、今回、補正で上げさせていただきましたけれども、当初予算の計上に若干、見積もりの甘さがあったということで、当初予算の計上が少なかったために不足が生じたところであります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 今、課長が説明していただきましたように、本当に予算の関係で見積もりが甘かったというのは、平成30年度の予算が780万で計上しておられます。そのときの説明欄のほうに、減額のためということで140万ほど減額されて予算をされております。

ここでまた補正されておりますけども、平成31年度の予算が1,500万ということで、急激に700万ほど上がっております。

この決算書を見ても、28年度に930万、そして、29年度が1,400万ということで、ジグザグといいましょうか、でこぼこが多いような感じがするんです。やっぱりそこ辺の詳細を再度認識していただいて、予算のあり方、また、本当に使用されている目的が正しいのかどうかを再認識していただきたいと思うんですけど、その点はどうでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（河内 晴彦課長） 御指摘のとおりでありまして、以後そのようなことがないように予算計上をしたいと思います。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） よろしくお願ひいたします。

もう1点だけです。今度は、先ほど言いましたように、教育次長にお伺ひいたしますけれども、ページ42ページの繰越明許費についてお尋ねいたします。

次長のほうが、12月議会のほうで、学校管理費の中に3,370万円を補正を組んでおられたと思うんですけども、その中で補助事業が2,870万、校舎改修とか町単独で500万ということで、この繰り越しの、大体エアコン設置だと思うんですけど、今までの工事の状況というんですか、そこ辺を教えていただきたいと思ひますけど。

○議長（工藤 博志議員） 教育次長。

○教育委員会次長（戸高 雄司次長） 教育次長。馬原議員の質問にお答えします。

この3つ上がっています繰越金につきましては、御指摘のとおり中学校のエアコン設置の費用となっております。

工事につきましては、1月末に全ての3校の入札が終わりまして、今現在、3月22日までの工期で発注を出しているところではありますが、今回、全国的なエアコン設置ということで、機器の調達に困難が生じるということで、今、県のほうにも繰り越しの申請を出しているところあります。

これに伴いまして、今回の繰り越しにつきましては、請負契約の前払いを除いた金額を全て繰り越しとさせていただいているところです。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 今、次長の説明の中で、財源ということでありましたけれども、財政課長にお伺ひいたしますけれども、今回、75ページに1,390万円の事業債減額と、そ

してまた、財源振替ということで同金額が補正してありますけれども、やっぱり、学校エアコン建設に対して、当初は補助金が2,800万、そして、町単独で500万ということですが、どういふ事情でこういうふうになったか教えていただきたいと思ひます。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（河内 晴彦課長） 財源の内訳につきましては、当初、起債で全額を予定していたところでありまひけれども、補助金が700万ほど、717万5,000円つきました。

それと、上野中学校の空調工事につきましては補助対象外ということで、ここは一般財源を充てるしかないということで、その分、起債のほうから減額ということで、事業費が差し引き1,400万ほどに、これは限度額ですけれども、1,400万ほどになるということで、予算を2,790万で計上しておりましたので、差額の1,390万を今回、起債のほうからは、財源的には減額しているという形になります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 教育次長、今の説明を聞いて、当初は3,300万円の総事業費を計上されていたわけなんですけれども、最終的には大体どのぐらいの金額で落ち着くということで、入札が終わったということですから。

○議長（工藤 博志議員） 教育次長。

○教育委員会次長（戸高 雄司次長） 入札をしまして、一応、高千穂中学校につきましては1,350万ほどです。田原中につきましては540万ほど、上野中につきましては650万ほどということで契約をしております。

また、先ほどありましたように、上野中学校につきましては、OAシステムを導入している関係上、国庫補助の対象にならないということで、補助対象につきましては、高千穂中学校と田原中学校ということになっております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 大体、総事業費は幾らになったんですか。

○議長（工藤 博志議員） 教育次長。

○教育委員会次長（戸高 雄司次長） 総事業費といたしましては、2,600万ほどになっております。このうちの交付の決定が、高千穂中学校につきましては511万6,000円、田原中学校につきましては205万9,000円ということで交付決定がなされているところです。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） わかりました。

続きまして、農地整備課長にお伺いいたしますけれども、現年の発生農地災害復旧ということで1億円、そして、昨年度も災害復旧ということで7,400万なんですけれども、この明許費の金額だけで、内訳がわからないんですけど、件数とかあると思うんですけど、そこを教えてくださいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 農地整備課長。

○農地整備課長（甲斐 徹課長） 昨年、平成30年度の農地農業用施設の災害復旧事業は、農地・農業用施設合わせまして63カ所の災害復旧事業査定を受けております。決定額としましては1億3,200万円余りを決定していただいております。今現在発注を続けておりまして、きょうも入札をしているところです。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 農地整備課長に再度お伺いいたしますけれども、毎年、こういう明許繰り越しが出るわけなんですけれども、私が議員になったとき、9年前は、ある程度、3月をめどに工事が終了ということになっていたわけなんですけど、この二、三年を見ますと、どうも進捗状況というんですか、入札関係も悪いような感じがするんですけども、一番、私どもも心配しているのが、やっぱり、建設業関係の作業員不足とか、そして、工事単価とかいのあるんじゃないかとは思いますが。

その中で、やっぱり、私が知っている限りで、ある建設業者は、社長が1人、従業員が1人、今後の土木関係の中にそういう若者離れというのが、そういうので心配はしているわけなんですけど、一つだけ、私たちがあまりわからないのが工事単価の人件費なんですけれども、5年前と比べてどのように推移しているか、そこ辺をわかれば教えてくださいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 農地整備課長。

○農地整備課長（甲斐 徹課長） 今の御質問ですけれども、設計単価は全国的に上がっておりまして、5年前からしますと、毎年数%ずつ上がっておりまして、国交省のホームページなどで確認したところ、これは29年から30年にかけての上がり幅なんですけれども、これは2.8%、全国的に上がっております。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） その点を、今、若者が、林業関係というのは1日の単価が、やっぱり林業関係は機械操作をすると1万5,000円、そして、作業員だけでも1万二、三千円を払われるということで、建設業の単価が7,000円から8,000円、どうしてもそこ辺を今後とも県のほうに働きかけていただいて、建設業のほうに若者離れというのが心配しておりますけど、そこ辺をお願いしたいと思います、どうでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 農地整備課長。

○農地整備課長（甲斐 徹課長） 実際に支払われている賃金については把握しておりませんが、けれども、ことしも、この明許繰り越しを上げるに当たっては、労働力不足、熟練工の不足ということで、毎年遅くなっております。

ですので、今回も、建設業協会などにも受注のお願いということもしておりますけれども、やはり、どこの産業でも人手不足ということがありますので、いろんな面で若者の雇用ができるような形をお願いを、県のほうを含め、産業界も含め、お願いしていきたいと、また、魅力ある職業ということでもアピールをしていただきたいというふうに我々もお願いしていきたいと考えております。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 最後に、町長のほうにお願いといたしますか、お伺いいたしますけれども、やはり、この明許繰り越しは、建設業を保護するというところで、15年前は郡内の建設業者が、職員が970名おりましたけれども、今は310名ほどになっております。それだけ厳しい現状がありますし、また、建設業を支えるということで、この明許繰り越しを行うことによって、盆までの、8月、夏場の建設業の入札ができるということで運転資金にもなるし、そういうことをなされているんですけれども。

私が言いたいのは、この明許繰り越し費用が毎年、去年が4億3,500万、ことしが3億6,400万ほど計上されておりますけどお、今、私が聞かなくてもいいように、少し詳しい内容を、例えば、何件あって何件しとると、そして、これは入札、余り詳しいところは要らないんですけども、そういう点は今後、来年の第1回の議会でもよろしいですけれども、少し、ちょっとうたった明細というんですか、そこを添えてほしいと思うんですけども、町長、そこ辺はどうでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 馬原議員からの御提案といたしますか、お願いに対してですけども、まずは、建設業を守るということでありまして、確かに、これからの地域を支えていくといえますか、農林業に続きまして、男性につきましては建設業に従事される方が多いわけではありますけれども、やはり、臨時的な雇用であるというところがあります。

これから九州中央道の整備であるとか、いろんな工事が進んでいくということについても、地元業者で対応できないということが考えられますので、やはり、先ほども一部話がありましたけれども、林業のほう、素材生産のほうが非常にイメージアップというところもあると思うんですけども、建設業のイメージアップ、そして、就業につなげるという支援についても、また、建設業協会のほうとも町として何か支援ができないかということについては考えてまいりたいとい

うふうに思います。

また、この資料の作成についてでございますけれども、確かに、先ほど御質問があったのを聞いておりましたら、やはり、内容、箇所数とか、路線とか、そういったことがはっきり、これを見てわからないということだというふうに理解をしましたけれども、ここに入れ込む、あるいは別紙として資料をつくるということについては検討をしてみたいと思います。

また、実際に繰越明許費の報告を6月議会のほうですとしたいと思いますけれども、そのときには、より詳細にわかるような形での資料作成を指示していきたいと思います。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） よろしいですか。

ほかに質疑ありませんか。富高健一郎議員。

○議員（12番 富高健一郎議員） 出ないようにありますので、1件だけ質問させていただきます。

議案第19号につきまして、病院事務長に質問をさせていただきます。

今回、1億2,500万の減額であります。これは、もちろん患者数が減って収益が上がらなかったということであろうかなというふうに思いますけれども、決算からいたしまして、27年度が19億1,000万、29年度が18億というふうに、大体1億ぐらいつつどんどん減ってきているわけであります。

そういった中で、30年度の当初予算は22億組まれておりました。30年度の6月、1,800万増額されました。1,800万、6月議会で増額して、今回は1億2,500万の減額ということですが、その辺のいきさつを説明していただきたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 病院事務長。

○病院事務長（江藤 良一事務長） 富高議員の質問に対してお答えいたします。

6月議会で1,800万程度増額したところでもありますけれども、それにつきましては、それに対する支出分があったと思うんですけども、それに伴う財源確保というところで収入を計上させていただいたというふうに記憶しております。

御指摘のとおり、今回、1億2,500万、医業収益としては減額となっておりますけれども、病院としては非常に、診療報酬の見誤りといいますか、そういったものもありましたし、昨年の4月で診療報酬の改定もありました。

それと、やはり、医業収益の中でも入院収益が7,500万、今回減額しておりますけれども、療養病床の利用率が、昨年で言いますと、すみません。ちょっと資料を確認しますけれども、一般病床のほうで、昨年が一番利用率が高かった時期が85%、一番悪い時期でも83%ではあったんですけども、療養病床のほうで、一番悪い時期で66%しか利用できなかった。——失礼

しました。最高で66%です。一番悪い時期が58%しか利用できなかった。こういったところが収入の見誤りがあったというふうに考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 富高健一郎議員。

○議員（12番 富高健一郎議員） それぞれ説明がありましたように、病院としては大変なことだろうというふうに思いますし、それぞれ努力をされていることはわかるわけでありませうけれども、昨年6月のその増額というのは、恐らく医者が9名から10名になったと、1名ふえたというようなこともあるから、そのようにされたのかなというふうに思いますけれども、一応予算という組む段階で、やっぱり、余りにも1億2,500万減額というのは大き過ぎるわけでありませうから、その辺も十分考えた上である程度予算を立てていただきたいと。

人口も減ってきておりますし、やっぱり、入院、外来患者も減ってきております。逆に言えば健康な人がふえたっちゃないかというふうに思えば、それはいいかもしれませんが、病院としても、やっぱりそれなりのいろいろな対策というのも考えていかなければ、もちろん医者も確保しなければいけませんし、中核病院としてやっていくためにはいろんな策をしていかなければいけないというふうに思います。

どんどん厳しくなる、厳しくなるばかりではまた大変なことになりますので、その辺を十分考えた上で、また今後の病院運営に頑張っていたきたいというふうに思います。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 病院事務長。

○病院事務長（江藤 良一事務長） 御指摘、ありがとうございます。31年度の予算に関しましては、見ていただくとわかりますけれども、収益的収支のほうで既に1億5,000万程度赤字を見込んだ大変厳しい予算を提出しておりますので、こちらのほうも後ほど御審議いただきたいというふうに思っております。

何て言いますか、大変厳しい状況は理解しておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） これで、質疑を終わります。

これから、補正予算議案6件について、討論、採決を行います。

初めに、議案第14号平成30年度高千穂町一般会計補正予算（第6号）について討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。議案第14号について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（工藤 博志議員） 起立全員であります。したがって、議案第14号は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第15号平成30年度高千穂町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）について討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。議案第15号について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（工藤 博志議員） 起立全員であります。したがって、議案第15号は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第16号平成30年度高千穂町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）について討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。議案第16号について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（工藤 博志議員） 起立全員であります。したがって、議案第16号は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第17号平成30年度高千穂町下水道事業特別会計補正予算（第4号）について討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。議案第17号について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（工藤 博志議員） 起立全員であります。したがって、議案第17号は原案のとおり可決

されました。

続いて、議案第18号平成30年度高千穂町介護保険特別会計補正予算（第4号）について討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。議案第18号について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（工藤 博志議員） 起立全員であります。したがって、議案第18号は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第19号平成30年度高千穂町国民健康保険病院事業会計補正予算（第4号）について討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。議案第19号について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（工藤 博志議員） 起立全員であります。したがって、議案第19号は原案のとおり可決されました。

日程第10. 議案第2号

日程第11. 議案第3号

日程第12. 議案第4号

日程第13. 議案第5号

日程第14. 議案第6号

日程第15. 議案第7号

日程第16. 議案第8号

日程第17. 議案第9号

日程第18. 議案第10号

日程第19. 議案第11号

日程第20. 議案第12号

日程第21. 議案第13号

日程第22. 議案第20号

日程第23. 議案第21号

日程第24. 議案第22号

日程第25. 議案第23号

日程第26. 議案第24号

日程第27. 議案第25号

日程第28. 議案第26号

日程第29. 議案第27号

日程第30. 議案第28号

日程第31. 議案第29号

○議長（工藤 博志議員） 次に、日程第10、議案第2号から日程第31、議案第29号までの条例議案12件、当初予算9件、その他の議案1件、合計22件を一括議題として質疑を行います。

また、質疑をされる方は議会申し合わせ事項を遵守していただき、さらに答弁者を指名して質疑願います。質疑ありませんか。本願和茂議員。

○議員（6番 本願 和茂議員） 議席番号6番、本願。町長もしくは福祉保険課長にお伺いします。議案番号が8号になります。高千穂町子育て支援金支給に関する条例の一部改正についてですけれども、以前から第1子に支給ができないかということで議員からも一般質問等々で要望があって、今回、新町長となって支給されることになりましたが、トップが変わるとこんな簡単に今まで要望してきたことが実現されるのかなと思ったほどです。実現することに関しては非常にいいことなので、今後、ますます町民の負担軽減になるのかなと思っていますけれども、この支給に当たって、第1子に支給が新たになるんですけれども、在学中の第1子等にさかのぼって支給することとか、あと、所得制限等々を検討された上での第1子の支給になったのか、まず、福祉保険課長にお尋ねしてから、町長の意見も伺いたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（有藤 寿満課長） 質問にお答えします。

現在、小学校、中学校に在学している方の過去にさかのぼっての遡及については検討しておりません。もう一つ、所得制限につきましても検討はしておりません。

以上です。

○議員（6番 本願 和茂議員） 町長にも同じことを伺います。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 本願議員の御質問にお答えいたします。

先ほどの御質問の内容に対する答弁は福祉保険課長が申し上げたとおりでございます。

私はより子供を産み育てやすい高千穂町をつくるんだということを選挙の公約として掲げさせていただいたところでございますけれども、子育て支援金につきましては、経済的な面から子育てを支援するんだということで、ぜひとも取り組みたい一つでございました。子育て支援につきましてはさまざまな方法があるというふうに考えておりまして、お金の問題じゃないよということもあると思いますけれども、まずはやはりどうしてもお金がかかるんだということ、そして、高千穂町はそういった支援が充実しているんだということで移住・定住につながっていく一つのきっかけとなればなというふうに考えているところでございます。

ふるさと納税を始めまして、ふるさと納税をしていただくに当たりましては、寄附の目的というところで、子育て支援、少子高齢化対策といったこともあります。今回の増額予算を前年度に比べて新たに拡充したことによってふえる部分につきましては、ふるさと納税による基金、これを取り崩して財源に充てたいというふうに考えております。そういった子育て・少子高齢化対策に役立ててほしいという寄附をいただいた方の思いの一つ、政策として新たにこういうことに使われましたよという、そういった結果を御報告するというのも必要であると考えておりますので、そのように取り組ませていただいたところでございます。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 本願和茂議員。

○議員（6番 本願 和茂議員） ふるさと基金を活用して町民の福祉向上等になることは非常によいことかと思えます。以前、基金を取り崩して、過去にふるさと応援基金はもう取り崩しが始まっていますけれども、使途について質問したときに、満遍なくというか、平たく活用したので、大きな事業に充てたのではないというような御答弁をいただいたことがありますけれども、こういった福祉向上とか、子供たちとか、高齢者のために目立って使うことが一番かなとは思っております。

以前、こういった要望をしたときに、どれぐらいの増額になるかというのが試算されていなかったもので、もっと高額な増額になるということで、なかなか踏み込み切れないのかなという思いを持っていましたが、今回400万円程度の増額ということで、ふるさと納税を活用すれば何ら難しいことではなかったのかなと実際に思いました。高千穂町、宮崎県に関しては、所得ランキングもかなり低いほうで推移していますので、申請を拒否するというか、辞退する人はいないかと思うんですけれども、もうちょっと所得を制限したりとかすれば、もっと額を上げて本当に困っている人に支給もできるんじゃないかなと思うので、今後はそういったことも考慮しながら手厚く支援していただきたいと思うんですけれども、町長のお考えをお伺いします。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 制限を設けるかどうかというところも一つ考えたところではございます。転勤族の方をどうするのかとか、そういったところも考えはあったんですけども、高千穂町で子育てをするということについては変わりがないというところもございましたので、そういった制限は設けないでいこうということで、私としてはそのように方針を決めさせていただいたところでございます。

また、財源としてふるさと納税のふるさと応援基金を活用するわけでございますけれども、400万円の増ということを見込んでおりますけれども、第1子の額を上げていくとなると、かなり増額になっていくんですけども、これ、一度制度化いたしますと、なかなか急にやめまじすということは言いがたい政策になってまいると思います。そういった中で、第4子、第5子、第6子という御家庭はそんなに多くはないというふうに思いますので、そういった多子世帯につきましてはなるべく増額をさせていただいたところでございますけれども、第1子の金額を3万円ということで御不満もあるかもしれませんけれども、今まではなかったわけですから、そういったところで第1子から支援をするんだということを示すために3万円ということで提示をさせていただいて、第1子を抑えたことによってそれほど、最初に本願議員も想像されたよりも額は抑えることができたのかなというふうに考えているところでございます。

なお一層、いろんな形で子育てしやすい高千穂町づくりに努めてまいりたいというふうに思っております。

以上です。

○議員（6番 本願 和茂議員） よろしくお願ひします。以上です。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑はありませんか。安在昭則議員。

○議員（5番 安在 昭則議員） 5番、安在です。議案7号、今度、高千穂町立保育園というのが移設ということで岩戸に新たにできまして、4月から新たにすることかなと思って大変喜んでおりますけれども、跡地につきまして今後どのようにされるのか、もしわかっていけば説明のほうを。今まで何回か話し合いがあったんじゃないかろうかとは思いますが、そこら辺のいきさつ等もわかれば、これは財務——企画ですか。じゃあ、よろしくお願ひします。

○議長（工藤 博志議員） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（有藤 寿満課長） 質問にお答えいたします。

現在、笹の戸公民館と福祉施設が利用したいということの要望が上がっております。今現在、笹の戸公民館について、全館員の理解等の受けるための説明をやっているということで、今、検討させていただいております。総会等で最終的に決定したいということのお話を受けておりますので、その後に先ほどの福祉施設と笹の戸公民館についての最終的な検討を関係各課とあわせてやっていきたいと思っております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 安在昭則議員。

○議員（5番 安在 昭則議員） あとは大体予定者がいらっしゃるということで非常に喜ばしいことなんですが、建物自体の耐久性というのはどんなものでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（有藤 寿満課長） 今、建設後40年が経過しております。耐震についてはクリアしていない状況です。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 安在昭則議員。

○議員（5番 安在 昭則議員） ちょっとわからないんですけど、これは耐震がクリアしていないということは、もしこれ、修理とかそういうことになってくると、町のほうが全部するというのでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（有藤 寿満課長） 最終的には利用される方との協議になると思いますけれども、今の段階では補修・補強等については考えておりません。

○議長（工藤 博志議員） 安在昭則議員。

○議員（5番 安在 昭則議員） わかりました。できるだけ、よく町民の方と、町長も言われていますけれども、話し合いを持たれて、今後いろんな問題が起きないようによろしく願いしたいと思います。

以上、終わります。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑ありませんか。磯貝助夫議員。

○議員（3番 磯貝 助夫議員） 議席番号3番、磯貝です。町長にお伺いします。31年度の一般会計予算のほうで、町長は施政方針のほうで財政の獲得、その中で駐車場の有料化、外貨獲得ですね、ということ言われたんですけども、この有料化について実行する、あるいは実現させるために、31年度予算のほうに計上されているものかなと思ったところなんですけど、それがちょっと私の見た限りでは計上されていないというところで、町長が駐車場の有料化をどういう構想を持っておられるのかちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 磯貝議員の御質問にお答えしたいと思います。

駐車場の有料化につきましては、私の中では構想を持っておりますけど、まだ役場内では具体的にお話を進めることができておりません。31年度当初予算の予算書の中にも盛り込みはできていない状況でございます。

まず、私が考えておりますのは、旧町立病院跡地の中央駐車場、ここをぜひとも観光客向けに開放してまいりたいというふうに考えております。そのために、今、役場職員が多くとめておりますけれども、代替地を確保することが必要になってくるかなというふうに思います。そういったところ、駐車場を別に確保するんだ、役場職員であればちょっと距離が遠くなったとしても、こっちにとめてくれと、ここは観光客向けに開放するんだといったことも考えていく必要がありますので、まずは、今とめている車を別のところにとめる。そういった代替地の確保を考える必要がある。それと、どのような形で料金をとっていくか。無人でとっていけるゲートを設置するとか、あるいは、そういった形が一番なのかなというふうに思いますけれども、こういった形で料金を徴収するかというところも考えていく必要があります。当初予算には間に合いませんでしたけれども、今から役場内での検討も進めてまいりたいというふうに考えているところでございます。そのような状況でございます。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 磯貝助夫議員。

○議員（3番 磯貝 助夫議員） それでは、31年度の予算の中で、今度は補正等を組みながら、あるいは、実行委員会等を立ち上げて、それで具体的な金額等が出てくれば補正で上げてくるということよろしいでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 31年度中に予算化できるかというところは、まだ今の時点でははっきりと言えませんけれども、役場職員だけじゃなくて、あそこの駐車場につきましては市街地で働いている方も、一般の方もとめているので、そのあたりとの折衝もありますので、協議を進めていくと、そして、まずは代替地を見つけるんだといったところから進めていきますので、31年度中にもしそういったところの協議がうまくまとまれば、構想をまとめることができれば、31年度中に補正ということもあり得るというふうに考えております。

○議長（工藤 博志議員） 磯貝助夫議員。

○議員（3番 磯貝 助夫議員） わかりました。駐車場を有料化するという事は、今までの駐車場をそのまま利用するというわけにはいかないと思うんですね。機械を入れたり、柵をつくって無料で入れないようにするとか、あるいは、そこに勤務する方々の賃金も発生するということろでありますので、これにつきましては慎重に検討していただいて、外貨獲得ということで町長も強く言っておられましたので、ぜひとも早急に対応していただきたいというところであります。

以上であります。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑はありませんか。板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 2番、板倉です。先ほどの磯貝議員の質問に関連で、同じく議

案第20号31年度高千穂町一般会計予算について、町長にお尋ねします。駐車場の件なんですけれども、外貨獲得のため、観光客向けに有料化というお話なんですけれども、私の想像なんですけれども、もちろん土日であったり、連休中のシーズンについては、駐車場に困っているであろう観光客というのを見るんですが、平日については本当に逆に寂しいような風景を見ることもあります。

ただ、町の観光協会のところの駐車場、あそこは月極の駐車場です、恐らく、記憶の間違ひがなければ、月に2,000円を払って利用していると思います。大体あそこに100台ぐらいとまるのかなと思うんですが、100台掛ける月2,000円ということで、現時点で毎月20万円ぐらいの収益が上がっていると思います。それをもう完全に観光客向けに開放としたときに、正直といいますか、私のあくまで予想なんです、逆に毎月20万を下回るんじゃないかなと思うんですが、そのあたりの見込みですね、どのようにお考えなのか、町長にお尋ねしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 確かに、平日からそこまで観光客がとめてくれるかという、ちょっと難しい部分も今の時点ではあるのかなというふうに思います。私があそこを開放したいというのは、有料化ということもありますけれども、今、進めております三田井の町に限って言えば、神殿通りの歩道の整備、都市再生整備計画事業に基づきまして、観光客に町を歩いてほしいんだという、そういった事業をやっております。あそこにとめていただくことによって、町なかに人が歩いていただける動線をつくることのできるんじゃないかという思いもあります。観光客から駐車場代を取ることだけじゃなくて、まちづくりを絡めて町にお金を落としてもらおう。そのきっかけとしてあその駐車場を利用していただくということを今は考えているところでございます。

私、あその駐車場を全部観光客向けに開放しようということではなくて、イメージとしては、入って左側の半分ぐらいというふうに考えているところでございます。まちづくりの状況とあわせまして、それをどのような規模感でやっていくのかということも考えていく必要があるというふうに考えております。

また、あその駐車場だけじゃなくて、岩戸神社あるいは高千穂神社等の駐車場につきましてもまたそれぞれ協議が必要でございますけれども、今、五ヶ瀬の神社に行っても駐車場代を取られるという時代でもございますし、高千穂町は観光客から稼ぐという、お金をいただくということについては、もっと町民の皆様の意識として積極的になってもいいんじゃないかというふうに考えております。そういったところも含めて検討を進めてまいりたいというふうに思います。

○議長（工藤 博志議員） ここで1時10分まで休憩します。

午後 0 時 04 分休憩

午後 1 時 07 分再開

○議長（工藤 博志議員） 休憩前に続き会議を開きます。

富高友子議員が午後の会議は欠席されましたので、報告します。

質疑を再開します。板倉哲男議員。

○議員（2 番 板倉 哲男議員） 2 番、板倉です。休憩前に続いて、議案 20 号平成 31 年度一般会計予算について、町長にお尋ねしたいと思います。

今回の予算ですけれども、前町長が策定された骨格予算に新町長が若干肉づけをしたという説明でした。具体的には、子育て支援金と小水力発電の可能性を探る調査をつけたということでした。子育て支援については選挙中の公約も私もたびたび耳にしたかなと思うんですけれども、小水力発電については余り記憶にないかなというふうに思っています。

ただ、この当初予算に入ってきたということは、町長の強い思いがあると思うんですけれども、小水力発電の今後の展望について、町長にお伺いしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 板倉議員の御質問にお答えしたいと思います。

おっしゃるとおり、子育て支援金につきましてははっきりと実現したいということで公約、選挙に向けてのお話の中でも表明をさせていただいたところでございます。

小水力発電につきましては、私は世界農業遺産・ユネスコエコパークを活用した地域づくりにも力を入れていきたいということはお話しをしておりましたけれども、世界農業遺産の認定を生かした地域づくりという中に、山腹用水路等を活用した小水力発電についても、私の中では思いとしては持っておったところでございます。日之影、五ヶ瀬につきましても、そういったモデル的な取り組みもありますし、これから地域の農村の担い手が不足していくということを考えたときに、用水路の維持であるとか、農地の維持をどう図っていくかということが課題でございます。そういった中、少しでも今ある資源を活用して地域を、小水力発電に限って言いますと、山腹用水路等の維持をどうしていくかというところは課題でございまして、小水力発電の電力を活用してその財源に充てるといったことも、以前から集落のほうを回ってみますと、そういったことはできないのかといったお話はいただいているところでございました。その中で調査を進めてまいりまして、この落差であれば採算がとれるのではないかといたところが出てまいりましたので、実現に向けて私は高千穂町内の取り組みのモデルとしてまずやってみるべきではないかというふうに考えるところでございます。山腹用水路の利活用につきまして、新たな利活用のあり方、こういったことができるんだということモデルとしてつくってまいりたいというふうに思いまし

て、実施に向けての調査事業に予算を計上したところでございます。

詳細が必要でございましたら、農地整備課長のほうに説明をさせたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） ぜひ詳細を現時点で結構ですとお教えいただきたいと思いますので、農地整備課長にお答えいただければと思います。

○議長（工藤 博志議員） 農地整備課長。

○農地整備課長（甲斐 徹課長） 小水力発電の取り組みに関しましては、平成24年、平成25年に県単の補助金を利用して、町内の7カ所の小水力発電を希望したいというところにつきまして一度調査をしたところでありましたけれども、その際は採算を見込めるところはなかったということでしたが、その後に企業局による可能性調査ということで調査をしてみたいというところがありましたので、その結果、報告をいただいたときに、概略の調査ではあるが、採算性があるという見込みが出たために、詳細に先進地などを視察などして、では、一体どのくらいの規模でどのくらいの詳しい設計をしたときに採算がとれるのかという調査が一旦必要になるかと思ひまして、町長の言われましたとおり、世界農業遺産・ユネスコエコパークを考えたときに、本町の自然エネルギーが活用できれば、衰退していく高千穂町内の土地改良区の維持管理・補修などにその収益が充てられるのではないかとということがありまして、今回、詳細な調査をかけてみたいということで計上しております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） ありがとうございます。町長の答弁にもありましたけれども、近隣の自治体でも非常にいい事例がありますので、そのあたりも参考にして調査のほうを進めていただきたいというふうに思います。

あと、もう1点ですけれども、町長が掲げておられる公約の一つに、健全な財政運営というものがあるかと思います。そして、一方、今回の予算については、実際は前町長が策定されたものになっていると思います。予算の歳入の中に基金繰入金、こちらが2億5,400万ほどあります。前回の議会で私が一般質問で議題にした内容にもなるんですけれども、平成26年度以降、1億円規模で基金を崩していることが続いています。それ以前の平成20年から25年については基金を取り崩さずに財政運営ができていました。また、平成20年以前においても、基金の取り崩しがあっても、1億円を超えるような額ではありませんでした。それが平成26年度以降はもう当たり前のように1億円規模で基金を崩しています。そして、31年度の予算についても基金の繰り入れが2億5,400万ほどになっております。もちろん、新町長の意向が全ての予算ではないと思うんですけれども、そこで町長にお伺いしたいのが、今の現状、毎年1億円規模で

基金を取り崩している現状を町長として健全な範囲であるとお考えなのか、あるいは、1億円規模の取り崩しは削減していかないといけないとお考えなのかお聞かせください。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） おっしゃるとおり、近年、基金の取り崩しが続いている状況でございます。要因といたしましては、大規模な事業が、町営住宅の建てかえ、また、30年度は天岩戸保育園の建てかえ、また、都市再生整備計画事業といった大きな事業が続いておりますので、これを実施していくに当たりましてはどうしても基金の取り崩しというのはやむを得ない部分があるのかなというふうに考えているところでございます。大規模な事業が終われば、少し基金の取り崩しというのは減らしていける方向なのではないかと考えているところでございます。

ただ、福祉関連事業費が毎年伸び続けているということを考えたときに、どうしても削減することが難しいという事業もございます。

また、地方交付税につきましても年々厳しいような状況もありますけれども、新年度に向けては、もしかしたら予想するよりも少し増額できる可能性もあるのかなというふうに思います。国からの地方交付税につきましても、しばらくはかなり額が多かったということで、基金を積み増すことができていた状況もあるんですけれども、このところ、地方交付税についても毎年減になっている状況もございますので、非常に厳しい状況でございます。そういった中で、新たな支出を減らしていくということも新年度に向けまして、来年度、32年度予算に向けましては、事業の見直しというの時間もかけながら協議を進めてまいりたいというふうに思います。

また、そういった中で、新たな事業に取り組もうとする場合に、午前中もありましたけれども、目的を定めまして、ふるさと納税というところを強化していくということで財源を確保していくということも考えてまいりたいと思います。支出を減らすということも考えますけれども、歳入をふやしていくんだということを積極的に考えてまいりたいと思っています。ふるさと納税につきましては、目的をはっきりして、これを確かに活用してこういった事業ができましたということをお返りする。こういったことをすることによって、目的がちゃんとこれに使うんだったらそれに対して寄附をしたい。あるいは、民間に事務を委託するという中におきまして、例えば、クラウドファンディングとか、そういったことも目的を持って町として取り組んでいく。そういったことで新たな財源確保にも取り組みながら、歳入の確保、そして、歳出の削減、こういったことをやっていきながら健全財政に取り組んでまいりたいというふうに考えております。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） ありがとうございます。本当に町長のおっしゃるとおり、歳入の確保、そして、歳出の削減、どちらも必要かと思えます。ぜひ取り組んでいただきたいと思えます。

そして、話がもとに戻るんですが、基金のところ、前回の私の一般質問の際、基金の取り崩しについて質問したところ、答弁としまして、将来の突発的な出費への備えであって、今が出費のタイミングであるという旨の答弁でした。そのときは私もそんなものかと思っていたんですが、後になってやっぱりちょっと疑問に思うところもありました。私が考える突発的な出費というのは、まずはやはり災害対応になると思います。災害については本当にいつ発生するかわからないものです。

ただ、一度起こってしまうと、多くの支出が必要になると思います。実際に、南海トラフ地震が今後30年以内に80%の可能性で発生するというふうに言われています。もちろん、高千穂町は津波等の心配はないんですけども、予想として、沿岸部は相当大きな被害が出ると予想されています。宮崎県の発表で死者は3万5,000人、避難者は40万人に上るだろうという県の発表もあります。高千穂町としてはそうした直接の被害はないとしましても、多くの避難者を受け入れたり、後方支援の役割があるかと思えます。また、地震・津波以外にも、平成22年口蹄疫というものもありました。私としては、基金の使いどころは、まずはそうした災害の対応だというふうに思っております。それ以外の建設事業についてはある程度予想はつくのかなというふうに思います。

以上、私の個人的な基金についての考えを述べました。

最後に、また町長の健全な財政運営に向けた基金の活用についてお考えをお聞かせいただければと思います。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 板倉議員の御質問に対してですけれども、確かに突発的な対応に備えて基金が必要だということはそのとおりだというふうに思います。

町営住宅の建てかえ、あるいは、保育園の建てかえというのは、何十年に一度という時期でありますけれども、今、その時期が重なってしまっているということでありまして、通常よりも支出がふえているということについてはやむを得ないのかなというふうに思うところでございます。

基金の活用についてでございますけれども、先ほど、御発言のありましたとおり、高千穂町にとっても南海トラフ地震とかがあったときには直接的な被害というのはなかなかないかもしれませんが、受け入れ体制の充実であったり、あるいは、高千穂町は九州の中央部にありますので、延岡、熊本側にも中間地点にありますので、いろんな避難緊急援助物資の重要な基地になるんじゃないかなというふうに思います。そのようなときに対応するようなお金も必要になってくるのかなというふうには思っているところでございます。

基金は本当に必要なときに活用したいということでありまして、基金が減っている要因といたしまして、起債をふやしたくないという思いも実はあります。起債をより多くしていけば、

基金を取り崩さなくてもいいわけですがけれども、起債をなるべくふやしたくない。そういった中で今は基金を取り崩さざるを得ないといったところも関連性はあるというふうに思います。起債とのバランスですね、基金活用のバランス、これをうまく考えてまいりたいと思います。

また、財政調整基金につきましてはかなり減少傾向にありますけれども、国のほうといたしまして、財政調整基金は単なる貯金じゃないですかといったことが言われますので、財政調整基金ばかりあんまりふえておきますと、何に使うかわからないのに貯金をふやしていますねといったことで交付税措置等に影響が出てくる可能性もあります。そういった中で、公共施設等整備基金等の特定目的基金に積み増すということについて、今からは考慮してまいりたいと、そのように考えているところでございます。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 以上です。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） これで質疑を終わります。

これから、ただいま質疑の終わりました議案の委員会付託を行います。

お諮りします。議案第20号については、お手元に配付の平成31年度一般会計予算審査特別委員会の設置案のとおり、議長を除く12名で構成する特別委員会を設置し、これに付託し、議案第20号を除く議案21件については、お手元に配付の委員会付託一覧表のとおり、所管の常任委員会に付託して審査することにしたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 異議なしと認めます。よって、議案第20号は平成31年度一般会計予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することとし、議案第20号を除く議案21件については、委員会付託一覧表のとおり、所管の常任委員会に付託して審査することに決定しました。

ただいま設置されました平成31年度一般会計予算審査特別委員会には、委員会条例第8条の規定により、正・副委員長を置き、委員会において互選することになっています。したがって、次の休憩中に年長委員において委員会を開き、正・副委員長の互選を行い、その結果を報告願います。

ここで暫時休憩します。

午後1時25分休憩

午後1時29分再開

○議長（工藤 博志議員） 休憩前に続き会議を開きます。

平成31年度一般会計予算審査特別委員会における正・副委員長が決定しましたので、その結果を報告します。委員長に佐藤久生議員、副委員長に磯貝助夫議員がそれぞれ選任されました。

○議長（工藤 博志議員） 以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしましたので、これにて散会します。

○事務局長（佐藤 英次事務局長） 御起立をお願いいたします。一同、礼。

午後1時30分散会
